

# 環境報告書

2019 年度

(2019 年 4 月 1 日～2020 年 3 月 31 日)

2020 年 5 月 15 日発行

有限会社日新商会

## 1. 組織の概要

- (1) 事業所名 : 有限会社日新商会
- (2) 代表者氏名 : 代表取締役 日浦 祐治
- (3) 所在地 : 本 社 三重県名張市美旗中村 2618 番地 2  
営業所 三重県名張市滝之原字大野山 4569 番地  
積替え保管施設 三重県名張市滝之原字大野山 4568 番地 1、4569 番地、4570 番地、  
4571 番地
- (4) 事業内容 1. 産業廃棄物収集運搬業(産業廃棄物収集運搬・積替え保管)  
2. 総合解体工事業
- (5) 資本金 : 10,000,000 円
- (6) 沿革 : 昭和 43 年 6 月 日新ラス張り商会として開業  
平成 5 年 6 月 建設業 家屋解体業を開始  
平成 13 年 4 月 商号(屋号)を日新商会に変更  
平成 18 年 1 月 三重県名張市に資本金 500 万円をもって有限会社日新商会を設立  
平成 18 年 3 月 三重県産業廃棄物収集運搬業許可取得  
奈良県産業廃棄物収集運搬業許可取得  
平成 18 年 4 月 滋賀県産業廃棄物収集運搬業許可取得  
平成 18 年 5 月 一般建設業(一般、土木工事業、とび・土工工事業)取得  
平成 25 年 11 月 資本金を 1,000 万円に増資  
平成 26 年 5 月 M-EMS ステップ 2 認証取得  
平成 28 年 4 月 滋賀県産業廃棄物収集運搬業許可に関し優良認定取得  
平成 29 年 5 月 M-EMS ステップ 2W 認証取得  
平成 30 年 3 月 奈良県産業廃棄物収集運搬業許可に関し優良認定取得  
平成 30 年 4 月 三重県産業廃棄物収集運搬業許可に関し優良認定取得  
平成 30 年 7 月 京都府産業廃棄物収集運搬業許可取得
- (7) 事業の規模
- ①売上高 : 342 百万円
- ②従業員 : 14 名 (パート 1 名含む)
- ③敷地面積:延床面積
- |           |      |                        |      |                       |
|-----------|------|------------------------|------|-----------------------|
| ・ 本社      | 敷地面積 | 1040.69 m <sup>2</sup> | 延床面積 | 142.06 m <sup>2</sup> |
| ・ 営業所     | 敷地面積 | 1595.26 m <sup>2</sup> | 延床面積 | 276.21 m <sup>2</sup> |
| ・ 積替え保管施設 | 敷地面積 | 601.75 m <sup>2</sup>  | 延床面積 | 276.21 m <sup>2</sup> |
- (8) 許認可一覧と許可品目

## 1) 産業廃棄物関係

許可の種類	有効期限/許可行政	事業の範囲
産業廃棄物収集運搬業 許可番号：02418125868	有効期限H30.4.19 ～H37.3.22 許可行政：三重県	①廃プラスチック(石綿含有産業廃棄物)、②金属くず(水銀使用製品産業廃棄物含む)、③ガラスくず等(石綿含有産業廃棄物含む)(上記品目は水銀使用製品産業廃棄物を含む。)④紙くず、⑤木くず、⑥繊維くず、⑦がれき類(石綿含有産業廃棄物含む)、以上7種類(積替え・保管を除く)、ゴムくず(上記品目は水銀使用製品産業廃棄物を除く)以上1種類
産業廃棄物収集運搬業 許可番号：02501125868	有効期限H28.4.14 ～H35.4.13 許可行政：滋賀県	①廃プラスチック、②紙くず、③木くず、④繊維くず、⑤ゴムくず、⑥金属くず、⑦ガラスくず、コンクリートくず(工作物の新築、改築又は除去に伴って生じたものを除く)及び陶磁器くず、⑧工作物の新築・改築又は除去に伴って生じたコンクリートの破片その他これに類する不要物(石綿含有産業廃棄物含む)以上8項目
産業廃棄物収集運搬業 許可番号：02900125868	有効期限H30.3.27～ H37.3.26 許可行政：奈良県	①廃プラスチック(石綿含有産業廃棄物含む)、②紙くず、③木くず、④繊維くず、⑤ゴムくず、⑥金属くず、⑦ガラスくず等(石綿含有産業廃棄物含む)、⑧工作物の新築・改築又は除去に伴って生じたコンクリートの破片その他これに類する不要物(石綿含有産業廃棄物含む) ※水銀使用製品産業廃棄物を含む 以上8種類
産業廃棄物収集運搬業 許可番号：02600125868	有効期限H30.7.3～ H35.7.2 許可行政：京都府	①汚泥(建設汚泥に限る)、②廃プラスチック類、③紙くず、④木くず、⑤繊維くず、⑥ゴムくず、⑦金属くず、⑧ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず、⑨がれき類、以上9種類(これらのうち特別管理産業廃棄物及び水銀含有ばいじん等であるものを除き、石綿含有産業廃棄物及び水銀使用製品産業廃棄物であるものを含む。)
一般建設業 許可番号：11176	有効期限H28.12.6～ H33.12.15 許可行政：三重県	一般、土木工事業、とび・土工工事業

## 2) 一般廃棄物関係 他

### ・積替え保管

所在地及び面積	産業廃棄物の種類	許可行政
三重県名張市滝之原字大野山 4568 番地 1、4569 番地、4570 番地、4571 番地 (面積 601.75 m <sup>2</sup> ) (保管上限 566.25 m <sup>3</sup> )	①廃プラスチック類(石綿含有産業廃棄物を含む)、②金属くず、③ガラスくず等(石綿含有産業廃棄物含む) 上記品目は水銀使用製品産業廃棄物を含む) ④紙くず、⑤木くず、⑥繊維くず、⑦がれき類(石綿含有産業廃棄物を含む。) 以上7種類	三重県

## (9) 取扱い産業廃棄物

### 1) 産業廃棄物 収集運搬実績と車両(施設)

#### ・産業廃棄物の収集運搬実績

	2017 年度	2018 年度	2019 年度
産業廃棄物	4440.78t	97.9 t	8558.89 t

・運搬車両の種類と台数

車両の種類	台数	最大積載量 (kg)	備考
ダンプ	10 台	2000～7800	
脱着装置付コンテナ専用車	2 台	2000～10000	
キャブオーバ車	5 台	2000～8000	

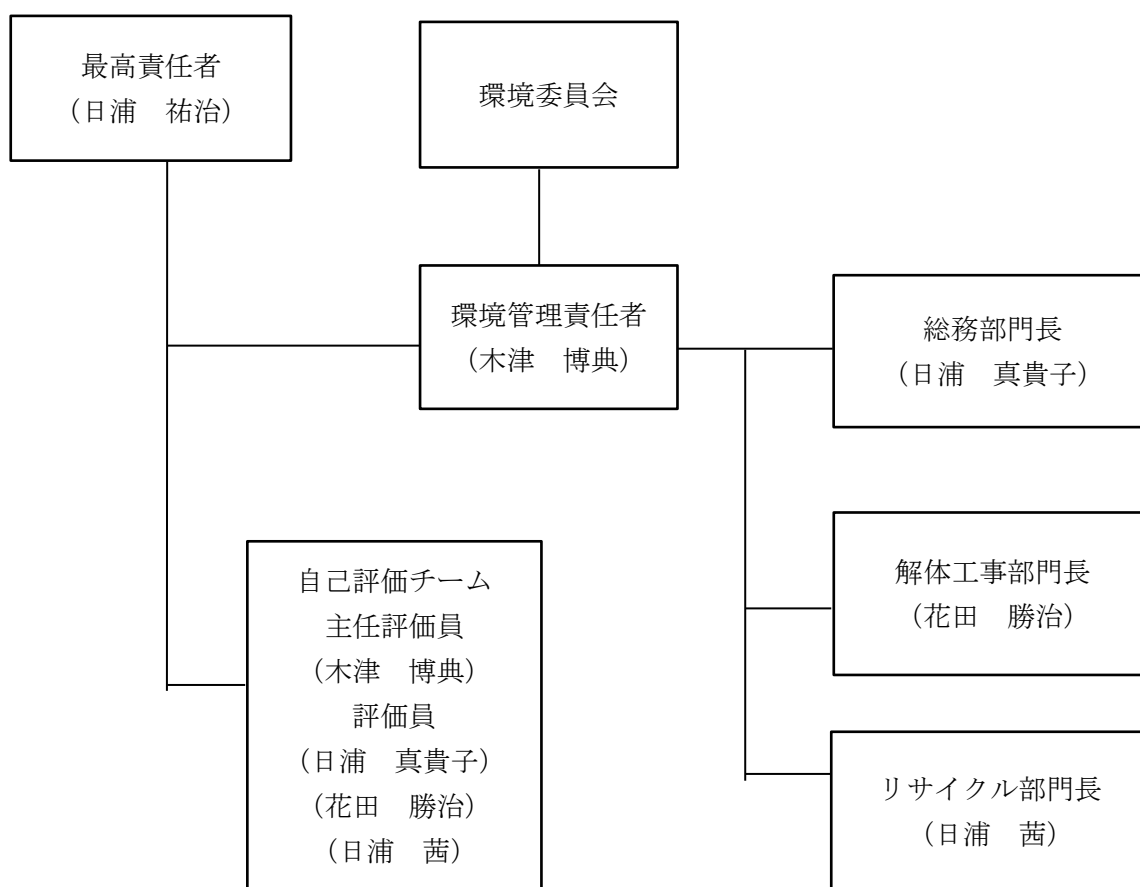
・処理工程図

収集運搬のみのため、処理工程図はなし

(10) 産業廃棄物の処理料金

距離及び使用車種等により変動しますので、都度算出となります。

(11) 環境活動の取り組み体制



環境管理責任者：木津 博典

連絡担当者：日浦 真貴子

連絡先 TEL：0595-65-3278 FAX：0595-65-3266

## 2. 登録対象

### (1) 登録内容

審査登録機関：一般社団法人 M-EMS 認証機構

初回登録：2014 年 5 月 1 日

登録日：2019 年 5 月 1 日

登録期限：2021 年 4 月 30 日

登録番号：M-EMS2W - 0015 KE SW-5-0015

### (2) 登録範囲

- ・産業廃棄物収集運搬業(産業廃棄物収集運搬・積替え保管)
- ・総合解体工事業

### (3) 対象事業所

- ・本社：三重県名張市美旗中村 2618 番地 2
- ・営業所：三重県名張市滝之原字大野山 4569 番地
- ・積替え保管施設：三重県名張市滝之原字大野山 4568 番地 1、4569 番地、4570 番地、4571 番地

### 3. 環境宣言

## 環境宣言

### 環 境 宣 言

#### 基本理念

有限会社日新商会は、地球環境の保全が人類共通の最重要課題の一つであることを認識し、全組織を挙げて環境負荷の低減及び環境保護に努力します。

#### 方 針

有限会社日新商会は、建築物等の解体工事及び産業廃棄物の収集運搬業務(積替え保管を含む)に係わる全ての活動、製品及びサービスの環境影響に配慮するために、次の方針に基づき環境マネジメント活動を推進して地球環境との調和を目指します。

1. 当社の活動、製品及びサービスに係わる環境影響を常に認識し、環境汚染の予防及び環境保護を推進するとともに、環境マネジメント活動の継続的改善を図ります。  
なお環境保護には、持続可能な資源の利用、気候変動の緩和及び気候変動への適応、並びに生物多様性及び生態系の保護などを含みます。
2. 当社の活動、製品及びサービスに係わる環境関連の法的及びその他の要求事項を順守します。
3. 当社の活動、製品及びサービスに係わる環境影響のうち、以下の項目を環境管理重点テーマとして取り組みます。
  - (1) 循環型社会への貢献(リサイクル率の向上(混合廃棄物の低減))
  - (2) 周辺環境への配慮(騒音、振動、悪臭の防止)
  - (3) 自動車・重機燃料の効率改善
  - (4) 電力の効率改善
  - (5) 事務所周辺の清掃等啓発活動
4. 一人ひとりが環境負荷低減活動及び環境保護を積極的に実践できるように、この環境宣言を全従業員に周知するとともに一般の人々が入手できるようにします。
5. 三重県及び名張市の環境改善活動に積極的に参画します。

上記の方針達成のために、環境改善目標を設定し、定期的に見直し環境マネジメントシステムを推進します。

制定日 2013年11月1日

改定日 2016年 4月1日

有限会社日新商会  
代表取締役 日浦 祐治

## 4. 環境改善目標

2019 年度以降 3 年間の環境改善目標

(基準年度：2018 年)

環境改善目標 (最終年度の目標)		2018 年度 (基準年度実績)		単年度目標と実績		
				2019 年度	2020 年度	2021 年度
二酸化炭素排出量の削減	電気使用量 基準年度比 1.5%削減	14,648kWh/年 8,071Kg-CO <sub>2</sub> /年	目標	基準年度比 0.5%削減 (14,574 kWh/年) (8,031Kg-CO <sub>2</sub> /年)	基準年度比 1.0%削減 (14,501kWh/年) (7,991 Kg-CO <sub>2</sub> /年)	基準年度比 1.5%削減 (14,428 kWh/年) (7,950Kg-CO <sub>2</sub> /年)
			実績	基準年度比 1.7%削減 (14,401 kWh/年) (7,9351Kg-CO <sub>2</sub> /年)		
	自動車・重機 燃料使用量 基準年度比 原単位 1.5% 削減	299 L-百万円/年 104,367 L/年 内訳 (ガソリン 761L 軽油 103,606L) 269,069 Kg-CO <sub>2</sub> /年	目標	基準年度比 0.5%削減 (297 L-百万円/年) (103,845 L/年) (267,724Kg-CO <sub>2</sub> /年)	基準年度比 1.0%削減 (296 L-百万円/年) (103,323 L/年) (266,378Kg-CO <sub>2</sub> /年)	基準年度比 1.5%削減 (294 L-百万円/年) (102,801 L/年) (265,033Kg-CO <sub>2</sub> /年)
			実績	基準年度比 0.5%削減 (298 L-百万円/年) (104,132 L/年) (273,050Kg-CO <sub>2</sub> /年)		
リサイクル率向上(混合廃棄物の低減) 基準年度比 3%向上	リサイクル率 97%	目標	基準年度比 0.5%向上 (97.5%)	基準年度比 1.0%向上 (98%)	基準年度比 1.5%向上 (98.5%)	
		実績	基準年度比 0.7%向上 (97.7%)			
会社周辺の清掃	12 回/年	目標	12 回	12 回	12 回	
		実績	12 回			
環境に関する苦情ゼロ	0 件/年	目標	0 件	0 件	0 件	
		実績	0 件			
二酸化炭素排出量 (Kg-CO <sub>2</sub> /年)	277,140	目標	275,754	274,368	272,982	
		実績	280,985			

排出計数：電力 0.551kg-CO<sub>2</sub>/kwh、ガソリン 2.32kg-CO<sub>2</sub>/L 軽油 2.58kg-CO<sub>2</sub>/L 出典：環境省

なお、総排出量(水の使用量)は生活排水程度のため、改善目標から除外しましたが、管理項目として取り上げ、節水を心掛け、その削減に努めます。

自社排出廃棄物も少量のため、改善目標から除外しましたが、管理項目として取り上げ、維持管理に努めます。

グリーン購入においては、事務用品をメインに購入品目の増加に努めます。

化学物質においては、その使用実績がありません。

## 5. 環境改善目標と実績

### 2019年度 環境改善活動実績

環境改善目標		具体的施策	目標値	実績値	評価
二酸化炭素排出量の削減	電気使用量 基準年度比 0.5%削減	<ul style="list-style-type: none"> <li>事務作業の効率改善</li> <li>残業の抑制</li> <li>クールビズ・ウォームビズの推奨</li> <li>5Sの徹底</li> </ul>	基準年度比 0.5%削減 (14,575 kWh/年) (8,031Kg-CO <sub>2</sub> /年)	基準年度比 1.7%削減 (14,401 kWh/年) (7,9351Kg-CO <sub>2</sub> /年)	A
	自動車・重機燃料 使用量 基準年度比 原単位0.5%削減	<ul style="list-style-type: none"> <li>営業ルートの効率改善</li> <li>選別作業の効率改善</li> <li>運搬作業の効率改善</li> <li>重機・自動車の安全運転</li> <li>5Sの徹底</li> </ul>	基準年度比 0.5%削減 (298 L/百万円▶年) (103,845 L/年) (267,724Kg-CO <sub>2</sub> /年)	基準年度比 0.5%削減 (298 L/百万円▶年) (104,132 L/年) (273,050Kg-CO <sub>2</sub> /年)	A
リサイクル率向上 基準年度比0.5%向上		<ul style="list-style-type: none"> <li>排出事業者への指導</li> <li>分別・選別作業効率化</li> <li>処分先との連携強化</li> <li>契約先へのコンテナ設置</li> <li>5Sの徹底</li> </ul>	基準年度比 0.5%向上 (97.5%)	基準年度比 0.7%向上 (97.7%)	A
会社周辺の清掃 12回		<ul style="list-style-type: none"> <li>事務所周辺を毎月清掃</li> </ul>	12回/年	12回/年	A
環境に関する苦情ゼロ 0件		<ul style="list-style-type: none"> <li>低騒音・低振動重機の使用</li> <li>粉じん囲い込み封じ込め作業の徹底</li> <li>近隣住民への配慮</li> </ul>	0件/年	0件/年	A
二酸化炭素排出量 (Kg-CO <sub>2</sub> /年)			275,755	280,985	C

評価記号 A：良好（100%以上）、B：やや不足（90～100%）、C：不適合（90%以下）

### 管理項目の実績

管理項目	具体的施策	項目	単位	2017年度 実績値	2018年度 実績値	2019年度 実績値
水の使用量削減	・洗車時の節水	水使用量	m <sup>3</sup> /年	84.2	81.3	76.7
グリーン購入	・エコ商品カタログの活用	購入品目	種	6	7	7
自社排出廃棄物 (一般廃棄物のみ)	<ul style="list-style-type: none"> <li>分別廃棄</li> <li>紙の効率的な使用</li> </ul>	自社排出 一般廃棄物量	kg	69.4	60.4	58.3



## 5.1 具体的な環境活動の評価

環境改善目標	取組結果の評価
電気使用量の削減	電力については、基準年度比 0.5%削減の目標に対し 1.7%の削減となりました。作業効率の改善による勤務時間の短縮が寄与したと評価しています。
自動車・重機燃料使用量の削減	燃料使用量については、基準年度比 0.5%削減の目標に対し 0.5%の削減となりました。営業ルートの効率化および作業スケジュールの遵守に心掛けたことが燃料使用量の減少に繋がったと評価しています。
リサイクル率向上	リサイクル率向上については、基準年度比 0.5%向上の目標に対し 0.7%の向上となりました。分別を徹底したことが寄与したと評価しています。
会社周辺の清掃活動	従業員の清掃活動への意識改革が進んでいると評価しています。また、毎月の清掃活動以外にも事業場の美化に取り組んでいます。
環境に関する苦情ゼロ	近隣住民への配慮を徹底しており、苦情ゼロを維持できています。

	取組結果の評価
二酸化炭素排出量の削減	自動車・重機燃料使用量および電気使用量の削減による二酸化炭素排出量は、基準年度比 0.5%削減の目標に対し 1.4%の増加となりました。要因は受注増加に呼応してトラックおよび重機の稼働率が向上したことによるものであり、原因は特定できています。

管理項目	取組結果の評価
水の使用量削減	洗車の方法の改善に取り組み、前年より使用量が減少しました。
グリーン購入	コピー用紙の再生紙使用等、グリーン購入を継続しています。
自社排出廃棄物 (一般廃棄物のみ)	分別廃棄や紙の効率的使用を従業員に周知した結果、前年より 2.1 kg の削減となりました。

## 5.2 2020 年度活動についての今後の課題

電力使用量、燃料使用量およびリサイクル率向上については、従業員の環境意識の高まりから 2019 年度の改善目標を達成することができました。

2020 年度については、環境意識を高めるための教育を定期的の実施するとともに、作業効率の改善や環境に配慮した設備の導入を着実に進めることが課題と考えます。

## 6. 環境関連法規の順守状況

当社の事業活動に制約を受ける環境関連法規制等については、遵守状況を定期的に確認し、評価の結果、違反はありませんでした。また、関係機関等からの違反等の指摘・苦情・訴訟等は過去 3 年間ありませんでした。

## 7. 代表者による全体の評価見直し結果

### 7.1 全体評価

従業員の環境意識は年々高まっており、2019 年度についてはすべての環境改善目標を達成することができ、環境マネジメントシステムは有効に機能していると評価しています。

### 7.2 見直し評価

2019 年度の重点項目を達成したことにより、目標値の妥当性、環境改善活動の有効性は「あり」と判断しています。

見直し項目	指示内容
環境宣言	変更なし。
環境目標・環境活動計画	環境改善目標は継続する。
環境経営システム	1年間活動して問題あれば見直しすること。

## 8. コミュニケーション

- ・施設見学を4名受け入れました。

以上